

デザイン総合実習I(建築・環境)※人間空間デザインコース

必修 開講年次：2年次前期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザイン基本科目（人間空間デザイン論、デザイン史、デザイン工学、表現基礎（製図）、建築設計製図）や展開科目（建築計画論、環境計画論、近現代建築史）の内容を踏まえ、1）室内外の環境の理解と実践を通じた空間の活用、2）都市近郊における外部環境の形成と活用、についての設計・制作を通して、建築物に関する知識・技術を深める。さらに、3）都市近郊における住宅設計の課題へと実習を進め、植生、人々の活動、空間の大きさ・密度といった様々な視点を統合する計画・設計提案の能力と、建築図面の表現方法を養う。なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目（建築設計製図）である。

■**到達目標**：①土地利用計画、施設計画を考える基礎資料になる環境調査の方法と基本的計画ができること。
 ②室内外の環境および環境心理をふまえた空間を、平面図、立面図、断面図、透視図、模型などを通じて計画・提案できること。
 ③樹木の種類やランドスケープをふまえた外部環境に対する提案を、配置図、断面図、植生図などを通じて計画・提案できること。
 ④以上の①～③を踏まえ札幌市の都市近郊における様々な地域環境の違いに配慮し、住宅の計画・設計提案と建築図面のプレゼンテーションの方法を修得する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎斉藤 雅也・中原 宏・矢部 和夫・羽深 久夫・椎野 亜紀夫・山田 信博・山田 良・大島 卓・片山 めぐみ

■**授業計画・内容**：

空間デザインの表現方法

第8回 講評

1. 室内外の環境の理解と実践を通じた空間の活用（休憩施設）

- 第1回 ガイダンス・調査方法・初期調査
- 第2回 環境調査と活用する空間の発見
- 第3回 環境の提案
- 第4回 講評

3. 都市近郊における住宅設計（住宅）

- 第9回 ガイダンス・調査方法・初期調査
- 第10回 住宅の計画（敷地の特徴に関する批評／自然環境・都市環境との関係）
- 第11回 住宅の計画（住宅の平面計画）
- 第12回 住宅の計画（住宅の構造計画／環境計画）
- 第13回 住宅の設計（作図／模型）
- 第14回 住宅の設計（作図／模型）
- 第15回 講評

2. 都市近郊における外部環境の形成と活用（公園・緑地関連施設）

- 第5回 ガイダンス・調査方法・初期調査
- 第6回 外部環境の理解と利用計画
- 第7回 外部環境の形成と活用についての提案

■**教科書**：『住宅をデザインする（建築学教育研究会編）』（鹿島出版会）

『北海道樹木図鑑 [増補版]』／佐藤孝夫著、本多政史編（亜細西社）

■**参考文献**：『建築・都市計画のための空間計画学』／日本建築学会（井上書院）

『北のランドスケープ』／浅川編著（環境コミュニケーションズ）

『樹木図鑑URL』／北造協、<http://www.hokuzoukyou.or.jp/zukan/zukan.html>

■**成績評価基準と方法**：提出課題作品（50%）、エスキス内容（30%）、現地調査報告（20%）を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	エスキスに対する姿勢 調査に対する取り組み	10
発表	◎	◎	○	エスキスの内容 調査報告等の内容	40
課題・作品	○	○	◎	計画趣旨 計画趣旨と内容の整合性 適切な表現	50
出席	◎	◎	◎	2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習Ⅱ（建築・環境）、デザイン総合実習Ⅲ（建築・環境）、デザイン基本科目、人間空間デザインコースの関連展開科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デザイン基礎科目で基本的な空間デザインの思考方法と表現方法を修得したうえで、人間空間デザインコース関連展開科目を関連させた実践的な建築デザイン・環境デザインの課題に取り組むための第1歩として現実的な課題に取り組む。